

沿岸養殖通報(第5報)

【種がき 平成22年7月29日】

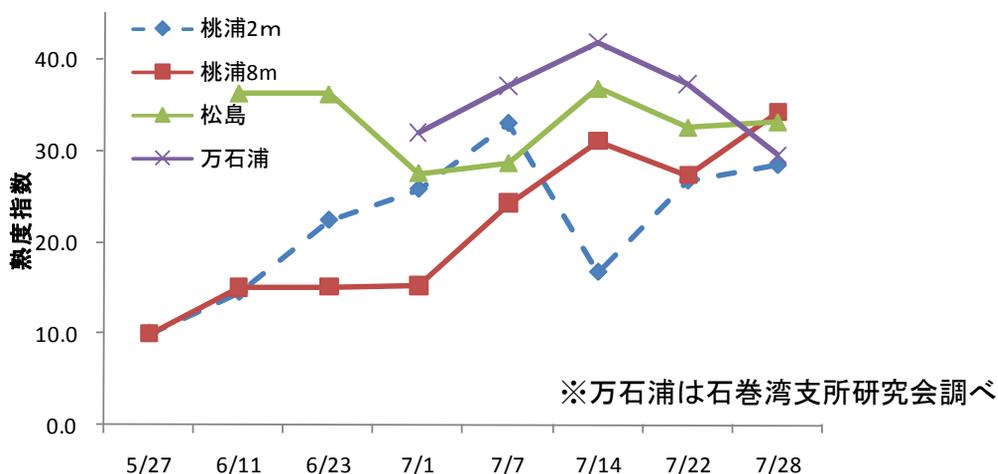
宮城県水産技術総合センター 東部地方振興事務所水産漁港部
宮城県漁協各支所青年部・研究会

本日、荒天のため沖合の調査は中止しましたが、熟度調査の結果、試験連への付着状況及び研究会による調査結果をお知らせします。

【概況】

1. 7月28日に行った熟度調査では、桃浦、松島のサンプルともに熟度指数は高い値を維持しており、天候の急変などの刺激により再び産卵が起こる可能性があります。
2. 研究会の幼生調査では、殻長250 μ mを超える大型幼生が、10個/100L程度観察されています。松島周辺の漁場では一部で殻長150 μ m以下の小型幼生が1500個/100L程度観察されています。
3. 佐須浜のセンター試験連には27、28日は、原盤1枚1日当たりの付着数が44.3個及び32.7個でしたが、29日には106.8個と増加しました。
4. 牡鹿半島周辺の一部地先から、この時化によるカキの産卵があったとの情報が寄せられています。
5. 7月28日現在、松島周辺と石巻湾奥では原盤の投入が一部にとどまっていますが、牡鹿半島の荻浜湾以東ではほぼ原盤の投入が終了しました。

▼熟度調査結果



7月28日に行った熟度調査の結果では、桃浦2mと松島のサンプルでは、熟度指数は高い値で横ばいであり、十分に成熟していたものの、一部で産卵の痕跡が見られる個体が見られるため、断続的に小規模な産卵が続いていると考えられる。桃浦8mのサンプルでは熟度指数の上昇が見られた。これら漁場では、今後の天候の急変などの刺激で再びまとまった産卵が起こる可能性がある。万石浦のサンプルでは熟度指数の減少が見られ、産卵があったと考えられる。

▼研究会による調査結果

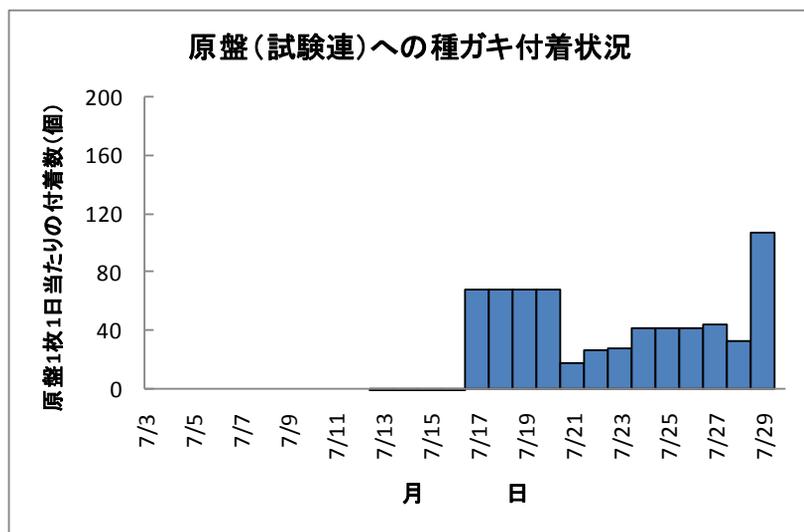
観測研究会	調査点	月日	水温(°C)	比重(σ 15)	サイズ(μ m)別幼生数(個/100L)					
					<100	100~150	150~200	200~250	>250	合計
表浜	ウサギ	7月29日	26.0		500	50	30	5	585	
	白浜岸		27.0		300	10	4	1	315	
	白浜沖		27.0		100	10	5	2	117	
	サメ島		26.0		100	10	7	1	118	
	大根 浦中		波浪のため欠測							
石巻東部	焼山沖	7月27日 PM:1:30	28.0		50	50	50	10	6	166
	君ヶ根			500	200	200	7	2	909	
	君ヶ根沖			250	250	100	20	10	630	
	富貴浦前		29.0		50	20	20	30	10	130
	鹿立前			25	20	20	40	12	117	
荻浜	1列目	7月26日 AM 6:35	25.0		100	40	40	3	183	
	6列目		25.8		80	10	30	4	124	
	桂島		26.0		1,000	20	15		1,035	
	内外		26.0		1,500	20	10		1,530	
石巻湾	松前	7月29日 AM:5:00	27.0	23.2	20	30	30	13	12	105
	基幹湾		26.5	22.5	10	15	20	8	5	58
	尾崎		26.8	23.1	20	30	100	5	14	169
	生草		波浪のため欠測							
	新免4号(沖)									
	新免4号(岸)									
	長浜(東)		27.0	23.2	30	80	50	3	2	165
	長浜(西)		26.8	23.6	100	70	50	7	9	236
鳴瀬	樺山	7月29日	29.0	18.7	2	2	1	1	2	8
	中の浜		26.7	15.9	3	4	5	5	0	17
	津島		27.3	23.3	42	62	30	6	4	144
	石浜		27.3	23.3	84	75	39	15	12	225
	鐘島		27.4	22.3	30	25	35	25	10	125
松島	新ヶ所	7月29日	28.1			200	27			227
			27.9							
	前原		27.9			230	18			248
			27.8							
浦戸東部	かじ山前	7月28日	27.0		1,725	87	15	0	1,827	
	赤藻崎		27.0		1,437	120	21	2	1,580	
	元屋敷		27.0		1,437	149	8	2	1,596	
	舞島		26.5		1,150	315	17	7	1,489	

○研究会の調査結果

一部の漁場で殻長250μm以上の大型幼生が10個/100L程度確認されているが、減少傾向にある。松島周辺では一部で殻長150μm以下の小型幼生が1500個/100L程度観察されている。

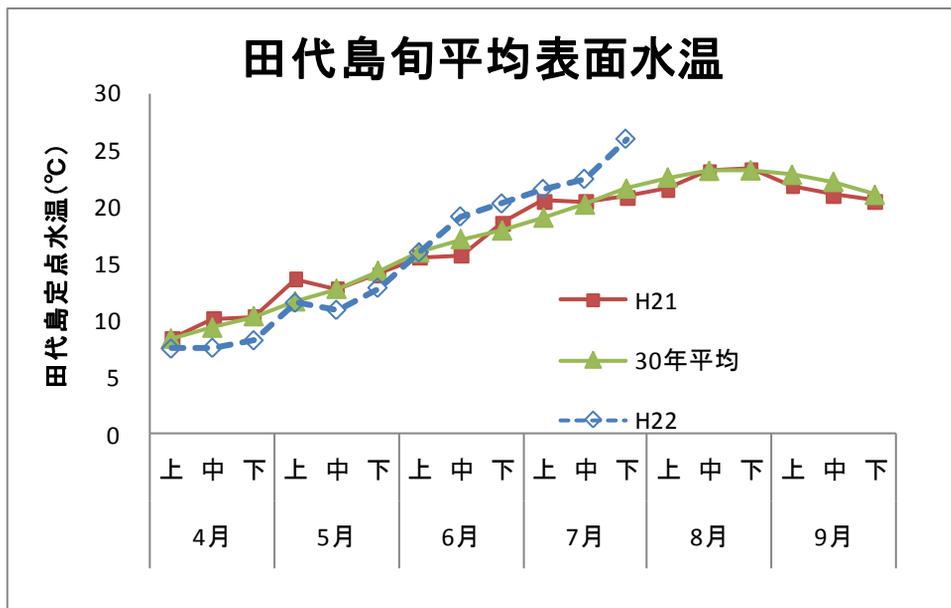
石巻管内では大型幼生の観察数は減少傾向にあるが、強い南よりの風の影響で、今後一時的に大型幼生が岸側に集積する可能性もある。

▼試験連への付着状況



○ 佐須浜のセンター試験連には27, 28日は、原盤1枚1日当たりの付着数が44.3個及び32.7個だったが、29日には106.8個と増加した。29日に付着数が増加した原因としては、折からの南風により沖合の大型幼生が集積した結果だと考えられる。

▼水温の動向



○田代島定点の旬平均水温(表層)

7月下旬は平年より4°C程度高めで推移している。

▼東北地方の週間予報(7月29日仙台管区气象台発表)

東北地方

向こう一週間、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめは気圧の谷の影響で雨の降る日があるでしょう。最高気温・最低気温ともに平年並か平年より高く、期間の中頃からは、平年よりかなり高いところがある見込みです。熱中症などの健康管理に注意してください。

[連絡事項]

1. 牡鹿半島の一部地先から産卵の情報が寄せられています。順調に発生が進むと、来週の月曜日には殻長100~150 μ mの小型幼生として観察されると思われます。小型幼生の出現にも気をつけながら幼生調査を行って下さい。
2. 各地先での浮遊幼生観測結果は水産技術総合センター養殖生産部まで FAX (0225-97-3444)で連絡下さい。また、すでに原盤の投入が終了した地先においては原盤への付着状況についても連絡下さい。
3. 本通報の内容は当センターのホームページ<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>でもご覧になれます。
4. 次回の通報発行は8月2日(月)の予定です。